

法大 勸業會 大 勸業會
葬事の如何の節澤出せしむ後者等より進出を各自不羨其商
人の辱れたる様子なり

明五百年集國本部前議長より正の堂とて入場され稱せり
最終に其藤岡文六

歴史的に革命の明瞭の國社長及資本家等が飽く迄
モ根多し其の革命の明瞭の國社長及資本家等が飽く迄

ト後派の革命の明瞭の國社長及資本家等が飽く迄

カクして三時半頃大會終了に各自労働歌革命歌を唱へて解散せり

労働歌
革命歌
労働歌
革命歌
労働歌
革命歌
労働歌
革命歌
労働歌
革命歌

鉄工所職工の進退の手紙を重役に出すアリ
左ニソノ重んずる記載ス

余は茲に三千労働者、急先鋒ト成り貴下ニ書ヲ呈スル次第アリ

横暴極之キ鉄工所ニ無警告ニ工場ヲ閉鎖シ日給労働者ヲ生活的ニ

苦シメ労働者皆然ノ要求条件ヲ容れず以上ハ我々ハ断テ一視スル事ニ

出来ナイ、貴下ノ住友ノ各工場ノ解雇手書乃極高ヲ知レルや貴下ハ紳士

ト云テ鉄工所職工諸君ノ要求ハ是レ有テ非レ有テハ判ルカドウ

然レ一月餘ニ亘テ尚目醒メズ官憲ヲ手先ニ使ツテ我々ノ正義ノ行動ヲ

蹂躪ニシテアリナリ
我々ハ最終ノ日が來テ生活的ニ死ノ近アリテ我々同志ハ死ノ道伴ニ貴下ヲ

殺害スル手付古た故貴下ノ首ヲ洗フヲ待テ居ル我々手ヲ下ス前ニ自決シテ

來レ
此大別命血並
財團 勸業會 大 勸業會